



## 後期の全力・前進 スタート!

『理想とされる存在になる』『感動の卒業式をつくる』

学年生徒代表の決意のことばです。

嬉しく思いました。一人の決意ではなく、  
みんなで一つの思いを共有しました。とても  
すてきなことです。10月は文化発表会があります。  
学年・学校のつながりを強くする時期です。

### ★思春期の悩み

半年が過ぎ、学校生活を経験する中で、うれしいこと、いやなこと、つらいこと、楽しいこと、様々な思いを感じて成長してきました。悩みが増えました。特に1年生は、中学生となって、思春期にふさわしい悩みを抱えています。『友だちとうまくいかない』『家の人に思うことが言えない』『学習や部活動がもっとうまくできるようになりたいのに』など・・・

大切な悩みです。こうやって悩んだ時に、見方や考え方を新しくしたり、友だちに支えられ直したり、家族と向き合って真剣に話し合うことで、解決していきます。人生は思うようにならないことも少しずつ理解していきます。この時が、成長のチャンスです!!中学生の親として、保護者も一緒に成長します。

悩みを抱えた時のお願いです。どうか一人で抱え込まずに、周りの人・学校の先生・友だちなど、自分の困っていることをつぶやいてください。一人で解決できずに苦しむことがあったなら、光海中学校は全力で、子どもたちや保護者のみなさまをサポートします。悩みのない思春期はありません。一緒に考えて、少しでも前進できるように力を合わせましょう。

### ○後期に向けて（始業式でお願いした3つのこと）

- 1 一人一人の存在を大切に学年・学校にする  
(周囲への心配り・安心安全な学校にしたい)
  - 2 しっかりとした学力をつける  
(確かな学力は自信を生み出す力になります!)
  - 3 縦のつながり横のつながりを大切にする  
(他学年・地域・小学校とのつながりをさらに強めよう)
- \* あいさつ『先に』を実行する  
(相手から先にあいさつをされると嬉しい。自分を認めてもらったことになります)

## ☆本物になる

令和元年度の後期目標のキーワードに「本物になる」ことを掲げました。

駅伝部の最後まであきらめない走り、結果だけではない、それまでにあった地道な努力を知っているからこそ、最後のゴールの瞬間が本当に尊かっただと感じました。

一歩ずつ前進することの価値は、小さな努力や小さなふれあいの中での発見から見つけていくのです。本物の努力をしてこそ、本物になるのです。



## ☆本物にふれる

10月8日、光海中学校1年生が、8名の地域の方を招いてふるさと学習をしました。その時にいただいた言葉を紹介します。

○「光海魂」は、私の中学生の時からあります。(第4回卒業生)ずっと光海中学校の生徒が大切にしてきた精神です。

○飛行機やスマホといった素晴らしい技術進化を想像できなかった。こんな発明ができる賢さをもってほしい。賢くなるためには、勉強なさい。そして、もっと賢くなるためには、行動なさい。

こんなうれしいことを言っていただきました。熱い中学生へのメッセージです。私たちのふるさとの先輩が語ってくれました。人生を生き抜いてきた方たちの厚みのある思いのこもった言葉です。これこそが、本物にふれることの一つでした。

## ☆本物を想定する

本物(本当によそで起こっていること)を想定して、小中合同避難訓練を行いました。

光海中学校は海に近い学校です。すぐ上に金比良小学校があります。地震の後、津波が予想されるときは高いところに逃げるのが鉄則です。だから、琴平公園へと避難しました。車道を横切ることもあり、中学生が小学校低学年の手を引いて、非難します。もし、本当に津波が襲ってきていたら、きっとこんな風にゆっくりと落ち着いて避難することは難しいでしょう。でも、こうするべきだということを体がおぼえておくことは、とても大切です。台風19号のつめ跡が大きい東日本の状況を見ると、自然災害の恐ろしさを学びます。過去のできごとから学ぶこと、本物を想定すること、これから生きる力の一つです。

